
ある夜に

おじやしげき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある夜に

【著者名】

おじやしげわ

N2132K

【あらすじ】

ある夜に、屋根の上に座る。
下からは妹が呼びかける。

そんなどこにでもありそうで、もしかしたらないかもしれない、夜。

星が好きだ。といつても、望遠鏡を覗いたりとか、展望台まで足を運ぶと言つことは無い。

自分の家の屋根に上り、ぼんやりと星を眺める。それが僕の幸せな時間だった。

「おにいちゃん? また屋根にいるの?」

「……なんだ、由貴か」

妹の由貴が居間から声を掛ける。

「なんだ、は無いでしょ? さつきからあ~っとお兄ちゃん呼んでたのに!」

「ごめんごめん。で、何?」

「も~つ! お兄ちゃん忘れちゃったの? 約束!」

約束か。そんなのしたような気もする。が、そんな事ほどでも思かつた。

僕はただただ星を眺めていたかった。一人になりたかったんだ。

「んしょつ……と」

……一人にはさせてくれないみたいだ。たまには空氣読んでくれよ

「お兄ちゃん 見つけた!」

何時も僕を振り回してた由貴だったが、今はそつとして欲しかった。

「お兄ちゃん?」

うるさい。ほつといてくれ。

「お兄ちゃんつてば!」

だまれ。

「ねえ、お兄ちゃん!」

「黙れよ!」

気がつくと怒鳴つてた。僕のことを何もわかつてくれない癖に構つてくるのが……

「だつて、お兄ちゃん……」

「つるさいー！ 僕の気持ちもわからない癖にー。」「や、そんな」と……

由貴は僕の気持ちをわかつてくれない。いや、わかるはずが無い。だつて、由貴は……

「おやじの作ったロボットが人間の気持ちを理解できる訳ないだろ」ぼくの妹、有希は2年前、交通事故で死んだ。その時、（事象）発明家だつた父が、今の由貴を作つたんだ。

学校でも『付き合つてるんじゃねえ？』とひまで仲が良かつた兄妹だつたから、僕が寂しくなると思つたんだわ。でも、ぼくの妹は有希だけだ。由貴はロボットでしか無い。そんなものには興味が無いんだ。

「もうお兄ちゃんなんて言わないでくれ。お前はただの物なんだよ！」

気がついたら肩で息をしていた。もう、何でもいいから田の前から消えてくれ……

「ねえ？お兄ちゃん？」

マダいたのか。お前と話すことなんてもう無いんだが……。

あの有希はもういない。どうしようも無い事実だ。もう……

由貴が何か突きつけてくる。これは……？

「有希お姉ちゃん、好きだったんでしょ？ 屋根の上でお兄ちゃんのギター聞くの。私も聞きたいな」

ギター……か。有希にはよく聞かせていたギターだが、有希が死んでから全く弾かなくなつた。おそらく押し入れから引きずり出してきたんだろう、ギターは埃まみれだつた。

「私ね、確かにお兄ちゃんの言うとおり、有希お姉ちゃんの代わりにはなれないかもしない。でも、私が有希お姉ちゃんの代わりに

……」「そんなんのなれるわけ……」

「あるよ」

由貴の一言。今までの過去に囚われていた自分にはなかつた、はつきりとした一言。

「確かに有希お姉ちゃんはいないけど、お兄ちゃんは未来を見ていかないといけないんだよ！」

その言葉は、どこか有希に被るといふがあるよつた『仄』がして……

……

「……お、お兄ちゃん？」

「なあ、由貴……」

「なあに？」お兄ちゃん？」

「ギターで、何の曲が聞きたい？」

(後書き)

某巨大掲示板で1・5時間で書いた作品です（といいわけ）。
ホントはお題の絵があるんですが、その絵を想像しながら読んでください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2132k/>

ある夜に

2011年1月26日13時52分発行